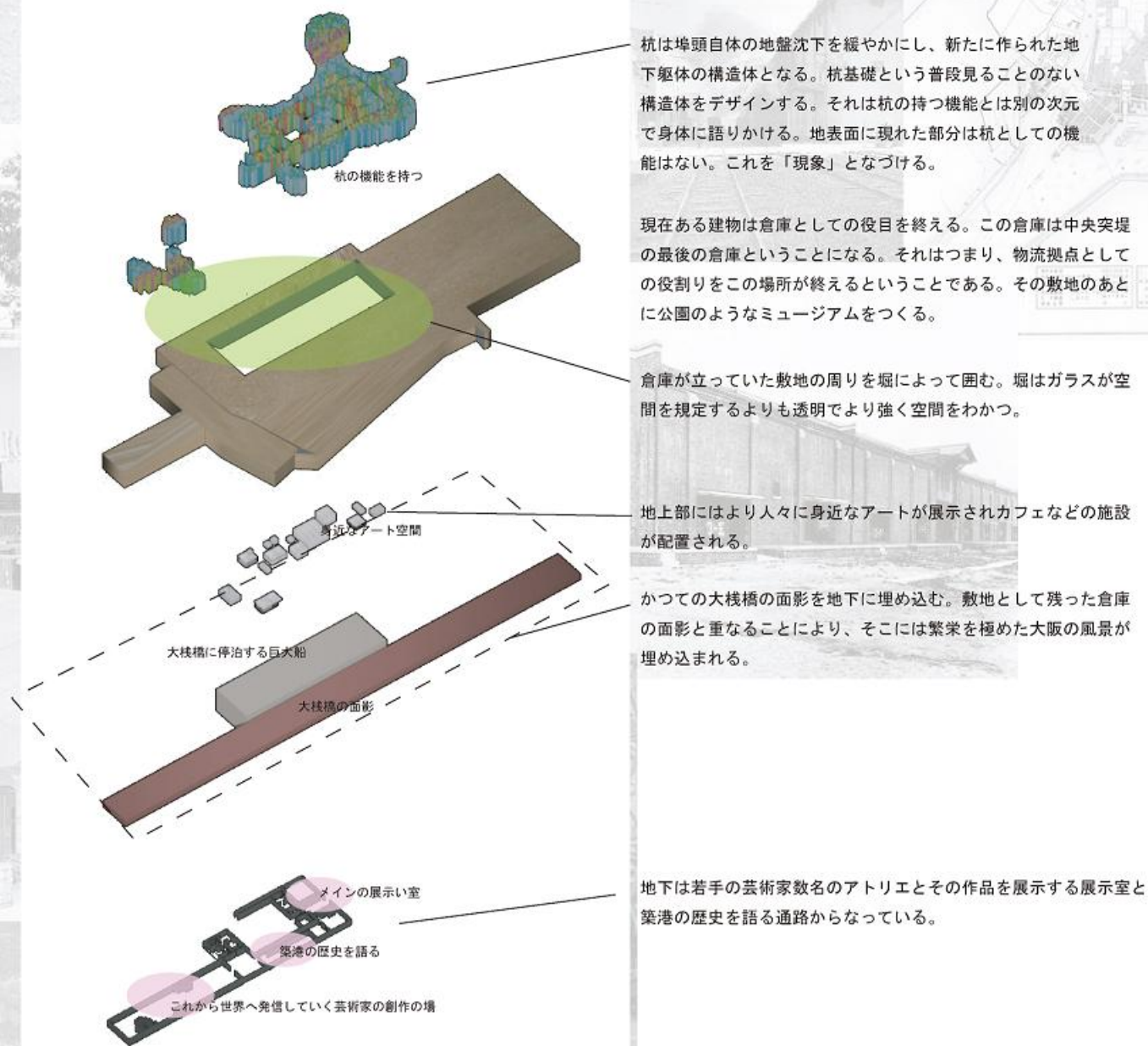


Diagram



「現象」の配置イメージ

Museum のプログラム

このミュージアムは大阪港の歴史を語る場所となる。しかし、この場所自体が大阪の歴史を語る場所であり、教科書的に歴史を教えるような施設は合わないと思われる。つまり、従来の学術的な貴重品を展示するような博物館ではなく、新たに築港の歴史となるような場所を設計する。

築港は大阪市の財政難により頓挫してしまいが芸術家村構想によりサントリーミュージアムやCASOなどの展示施設がつくられている。またこの独特の風景は多くのひとを惹きつけ、NPOなどによるアート活動も盛んである。そこで具体的には博物館と美術館をまぜたような、世界に羽ばたく前段階の芸術家のための場所をつくることにする。

コンペ形式で選ばれた表現者がその場所にあった作品を新たに作り展示する。「閉じ込められた海の部屋」と名づけられた大空間は一等に選ばれた人物がコンポーズし、作品は美術館が買い上げる。表現者の作品の製作の場と発表の場を同時に用意することにより、製作自体も展示することとする。

かつて、この場所が世界と大阪を結ぶ結節点であったように、芸術や文化で世界と繋がるような場所をつくる。またNPOと共同で「現象」を使ったさまざまなワークショップをおこなう。「現象」に絵を書いたり、色を塗ったり、布を巻いたり、そういったことを行うことで人を呼び、ある種公園のような空間をつくる。

MUSEUM

空間コンセプト～「うちとそと」と「内部と外部」～

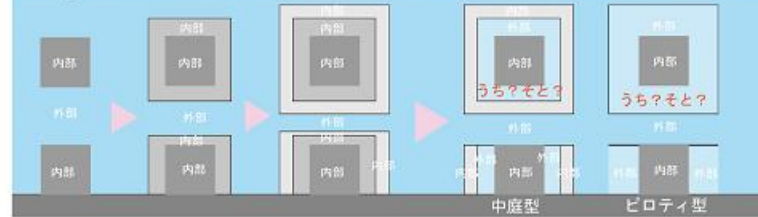
客観的空間認識：「内部、外部」

主観的空間認識：「うち、そと」

「内部、外部」を建築空間的に雨が入らない、風や光の調整ができるといった物理的、客観的な意味とする。

「うち、そと」を身体が受ける主体的感覚による意味とする。

Diagram: 「うちとそと」と「内部と外部」



建築的内部と外部は基本的に壁と屋根面によって構成される。中庭やピロティは基本的に外部空間に属す。

中庭やピロティは外部空間であるが、「うちかそと」かは人によって感じ方が違う。

堀の効果

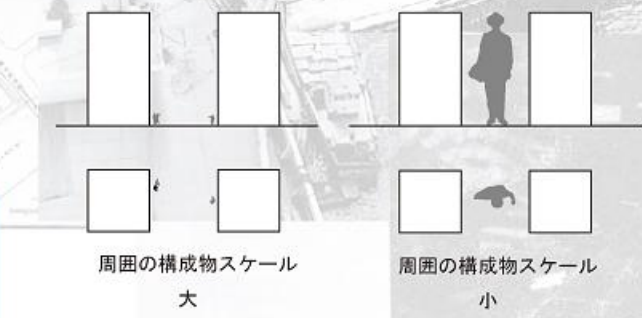


堀による空間のしきりは古くから見られ、水の都とよばれた大阪にも多くの堀があった。今回地上部の建物を堀の中につくることによってガラスよりも視線を通し、物理的にはより境界わかる。

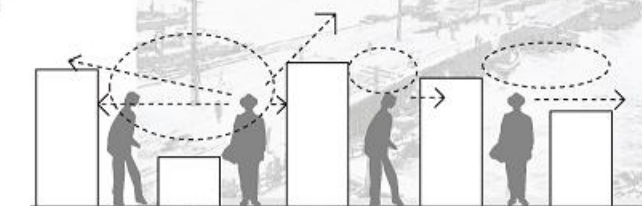
「うちとそと」の身体の感じ方

「うち、そと」を身体が受ける主体的感覚による意味とすると、身体に働きかける主要な要素にスケールと視線がある。

スケール



視線



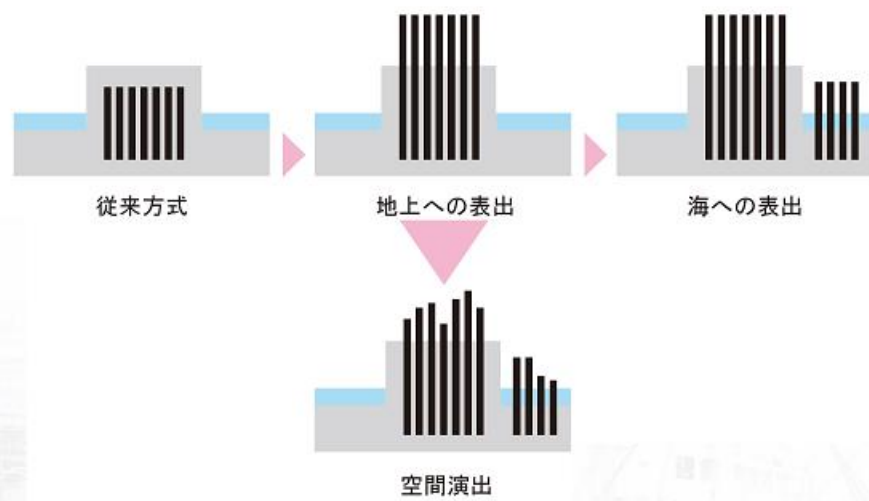
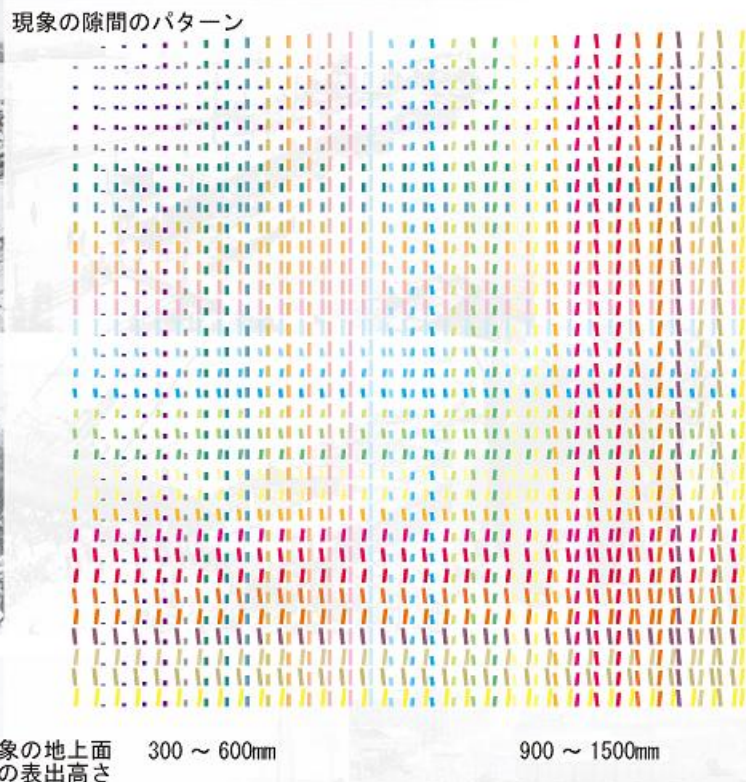
水平レベルの視線の抜けと空レベルの視線の抜け

仕切りの高さで視覚

高さ (cm)	視覚
110	座ったままで見通しが利く。
120	座ったときの視点とほぼ等しく、立てば見通しが利く。
150	立ったときの視点とほぼ等しく、周りが見通せるので圧迫感が少ない。
180～210	人の動きを視覚的に遮ると共に、他からの視線を意識する必要がなくプライバシーが高い

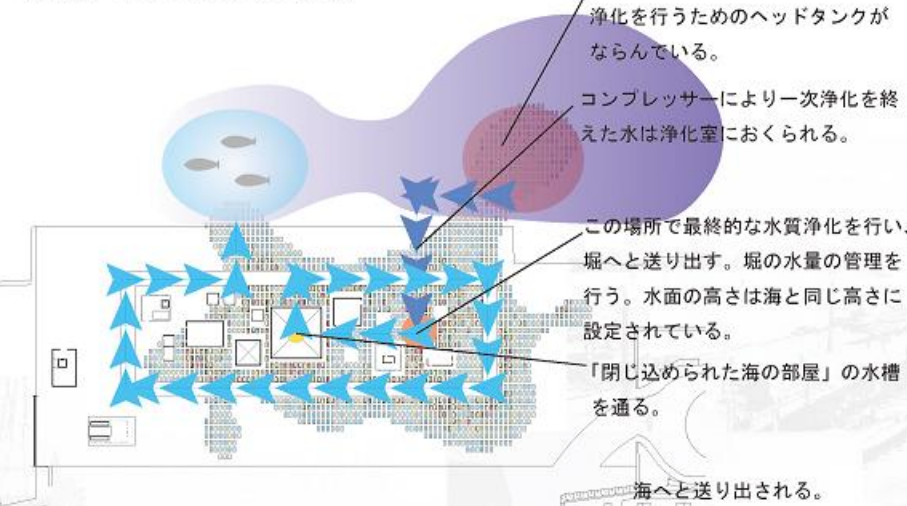
参照：第3版コンパクト建築設計資料集成

Diagram: 現象

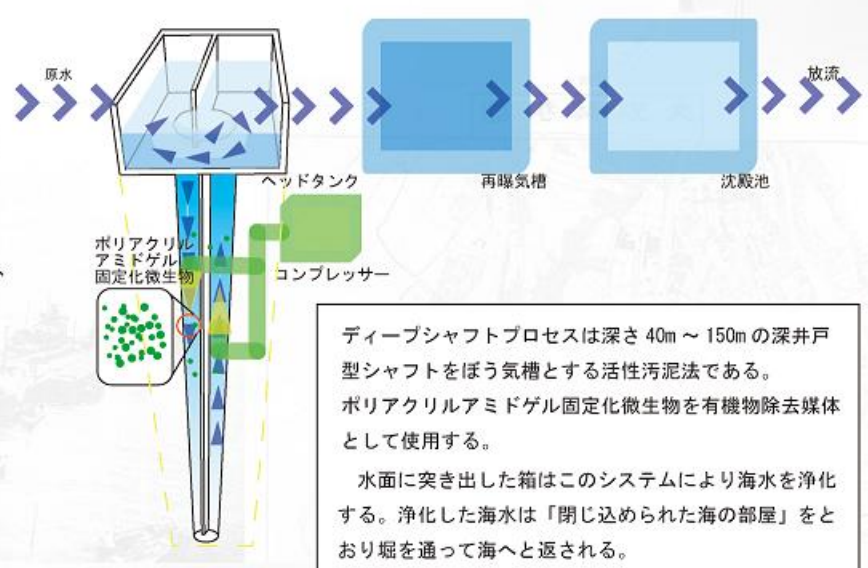


普段、杭は地下部にあり目にする事はない。その機能は建物を支えたり地盤を支えたりするものだが他の構造体に比べデザインされることはない。それは目に見えないからでその必要性がないからで、機能に特化されたものであるといえる。この杭を地上部分に表出させる。地上部分に杭としての機能はなく現象となる。その現象は空間を演出し、風景をつくりだす。

水質浄化システムの流れ



ディーブシャフト方式による水質浄化システム

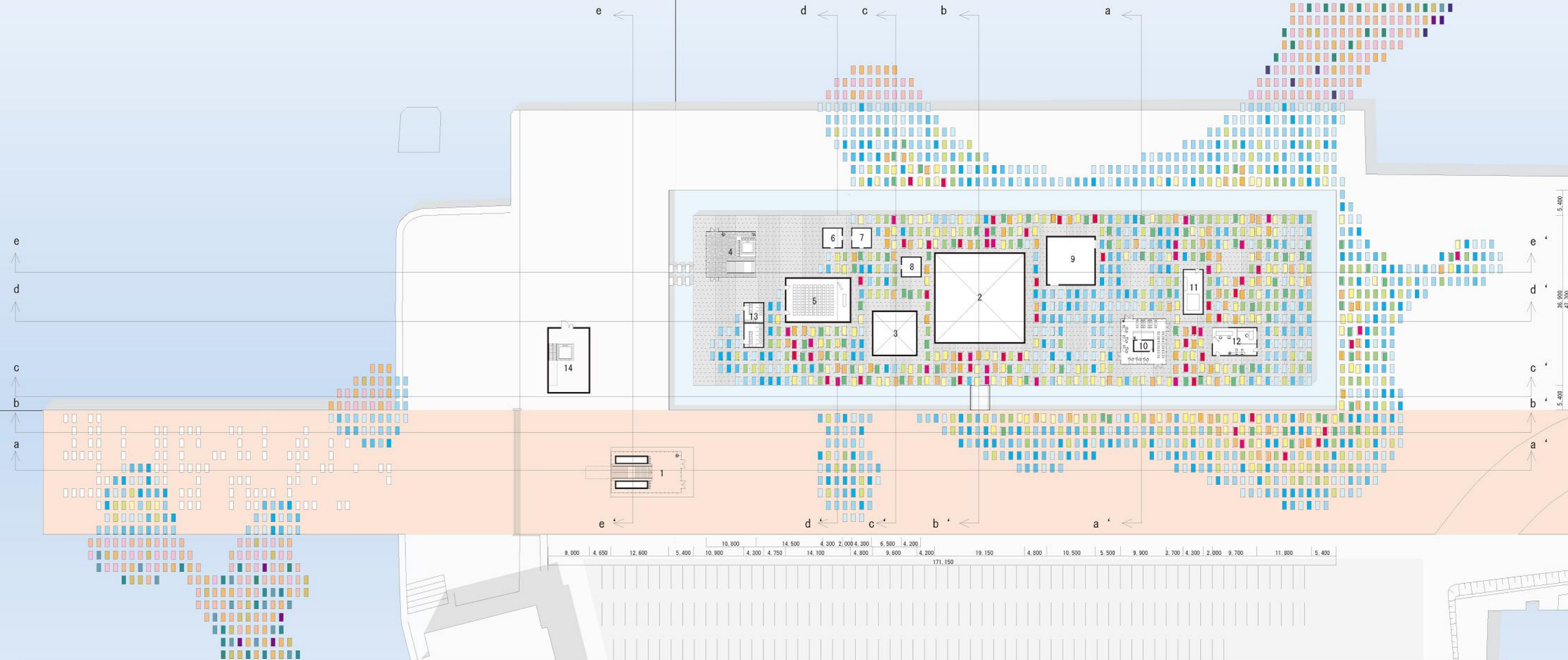


「現象」の高さ配置

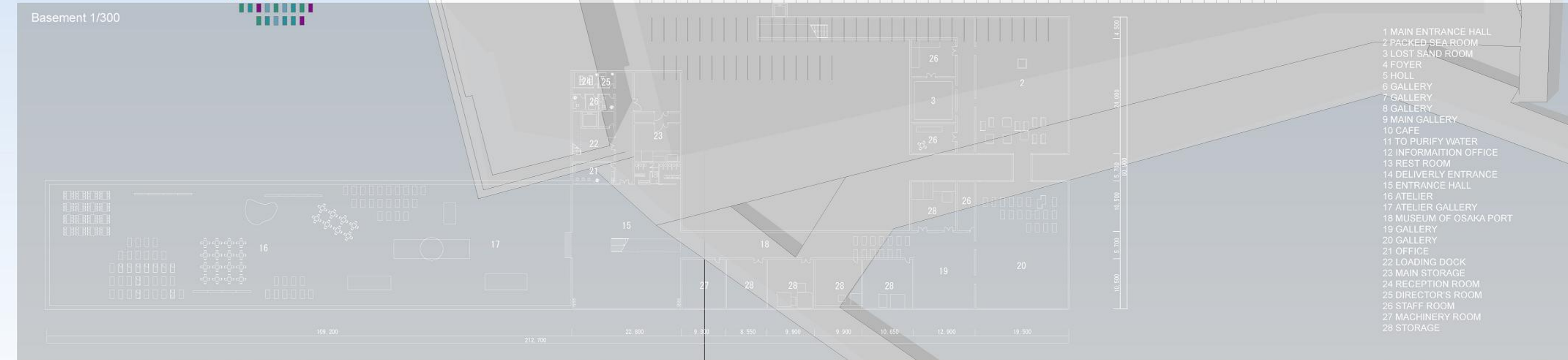


Long Section a-a' 1/300

Ground plan 1/300



Basement 1/300



South Elevation 1/300



- 1 MAIN ENTRANCE HALL
- 2 PACKED SEA ROOM
- 3 LOST SAND ROOM
- 4 FOYER
- 5 HOLL
- 6 GALLERY
- 7 GALLERY
- 8 GALLERY
- 9 MAIN GALLERY
- 10 CAFE
- 11 TO PURIFY WATER
- 12 INFORMATION OFFICE
- 13 REST ROOM
- 14 DELIVERLY ENTRANCE
- 15 ENTRANCE HALL
- 16 ATELIER
- 17 ATELIER GALLERY
- 18 MUSEUM OF OSAKA PORT
- 19 GALLERY
- 20 GALLERY
- 21 OFFICE
- 22 LOADING DOCK
- 23 MAIN STORAGE
- 24 RECEPTION ROOM
- 25 DIRECTOR'S ROOM
- 26 STAFF ROOM
- 27 MACHINERY ROOM
- 28 STORAGE